判断理由の確認 KPI記録シート

週間記録 ／ 相手の判断理由と次の行動の共有、認識違いによる作業待ちを振り返る

現場名：＿＿＿＿＿＿＿＿　監督：＿＿＿＿＿＿　職長：＿＿＿＿＿＿

記録期間：　　年　　月　　日 ～　　月　　日

1　相手の判断理由を確認し、次の行動と相談条件をそろえる

対象作業・疑問を感じた相手の行動（起きた事実）：

本人に確認した判断理由／自分の考えとの違い：

共有した次の行動（誰が・いつ・何をするか）：

共有した相談条件（どんなときに・誰へ・どの方法で相談するか）：

2　終業時に記録する

プロセスKPI：相手の行動に疑問を感じた場面で、判断した理由を確認し、
次の行動を共有できた回数

結果KPI：次の作業や相談条件の認識違いによって発生した作業待ち件数

日付	判断理由を確認し 次の行動を共有した回数	次の作業・相談条件の 認識違いによる作業待ち件数	相手の判断理由／次の行動・相談条件 作業待ちの内容・認識違いの内容
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
／	回	件	
合計	回	件	

※ 回数：相手の行動に疑問を感じ、判断理由の確認から次の行動の共有までできた一連の機会を1回とします。
※ 件数：次の作業・相談条件の認識違いで、作業に着手・再開できず待ちが生じた事案を、判明日に1件。
※ 同じ事案は重複計上せず、予定された待ち・他の原因による待ちは除外。該当なしは「0」、休日は「休」。

3　気づきと、次の行動・相談条件の伝え方を見直すこと

人を責めるためではなく、相手の判断理由を確かめ、次の行動と相談条件をそろえて作業待ちを減らすために使います。